（様式）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 新公会計制度アドバイザリー会議 |
| 日時 | 令和４年8月２４日(水)　１３時３０分～15時３５分 |
| 場所 | 府庁本館４階　会計検査室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：武田特別参与　谷口特別参与(職員等)：会計管理者兼会計局長 会計指導課長、課長補佐他　会計指導課職員 |
| 論点 | ・令和３年度財務諸表について・その他 |
| 主な意見 | 資料２について・貸借対照表のコメント、「資産、負債はともに増加し、純資産額は増加」は、「資産の増加が負債の増加を上回り、純資産は増加」と記載してはどうか。・「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」のコメント、「行政活動キャッシュ・フロー収支差額は、負担金・補助金・交付金等の支出の増加などにより減少」とあるが、投資活動収支差額でマイナスになっているので、マイナス要因としては、財政調整基金の積立と思うので、それを記載してはどうか。資料３について・１ページと７ページの『臨時財政対策債償還基金費等の創設などにより』の部分、「創設に伴うなどにより」と記載してはどうか。・１ページ後段「物件費も増加（+509億円）となっています。そのため、行政収支差額は増加（+829億円）となっています」の「そのため」は「その結果」と記載してはどうか。・４ページ固定資産の減損状況で、藤井寺高等学校の減損対象は「一部」なので、その旨わかるよう記載を追加してはどうか。 |
| 結論 | 資料２について・貸借対照表のコメント、「資産、負債はともに増加し、純資産額は増加」は、「資産の増加が負債の増加を上回り、純資産は増加」と記載する。。・「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」のコメントは、「行政活動キャッシュ・フロー収支差額は、財政調整基金積立金にかかる支出の増加などにより減少」と記載する。資料３について・１ページと７ページの『臨時財政対策債償還基金費等の創設などにより』の部分は「創設に伴うなどにより」と記載する。・１ページ後段「物件費も増加（+509億円）となっています。そのため、行政収支差額は増加（+829億円）となっています」の「そのため」は「その結果」と記載する。・４ページ固定資産の減損状況で、藤井寺高等学校については、減損対象の帳簿価額を記載し、減損対象土地の「一部」である旨追記する。 |
| 説明等資料 | ・議事次第・【資料１】令和３年度財務諸表（各会計合算）・【資料２】令和３年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要・【資料３】令和３年度大阪府新公会計制度財務諸表についてなお、これらの資料については、令和４年８月２４日現在であり、会議での指摘等による修正があります。最終の財務諸表等については、下記の資料を確認ください。※最終の財務諸表についてはこちら（リンク）<http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html> |
| 関係部局（室課） |  |